



日野 猛仁 議員

### 伊予市市民満足度調査結果における対応は

#### 問

①高齢者対応の充実を問う。  
②「新学習指導要領」への実施計画及び教育条件の整備を問う。  
③子どもが健やかに育つための体制整備を問う（通学区域の弾力化）。

#### 答 中村市長

①本市は、数年後に高齢化率が30%を超えると推測されており、総合計画をもとに伊予市高齢者保健福祉計画を策定している。誰もが安心して住みなれた地域で健康で生きがいをもって生活できる安らぎとぬくもりのある伊予市の実現を伊予市の将来像ととらえ、高齢者施策を実施していきたい。また、高齢者の生きがい

活動については、公民館、シルバー人材センター、老人クラブ等で取り組んでおり、今後も関係諸団体との連携を図り就労支援や社会参加を促進していきたい。

伊予市「市民満足度調査」調査票					
あなた自身についておたずねします 答えの番号を○で囲んでください。					
【性別について】 問1 あなたの性別は					
1 男	2 女				
【年齢について】 問2 あなたの年齢は					
1 20歳代	2 30歳代	3 40歳代			
4 50歳代	5 60歳代	6 70歳以上			
【居住地区について】 問3 あなたが現在住んでいる小学校区は					

市民満足度調査票

#### 答

宮岡教育長

②平成20年度より、新学習指導要領の周知徹底を図り、21年度から可能なものから先行実施している。完全実施は、小学校は23年度から、中学校は24年度からである。現在検定中の新しい教科書の採択を22年度に小学校、23年度に中学校で実施する。特に中学校では、体育での武道の必修化に伴い、柔道・剣道の用具の整備、音楽での伝統文化に関する学習を充実するための楽器の整備等が必要である。  
③地理的条件や歴史的背景等

を考慮し、就学する学校を指定する校区制を採用しているが、転居や心身の障害など一定の基準に該当する場合には、指定校の変更を認めている。学校選択制は、各家庭の意向による就学が可能になるなどメリットはあるが、反面学校間格差を広げる可能性など、デメリットも指摘されており、基準を定め運用している。

特色ある学校づくりを実践している翠小学校に小規模特認校制度を導入することは、児童数の増加や地域活性化にも寄与する非常に有効な施策であると認識しており、保護者の意見を伺いながら早期導入を目指したい。

### 青少年健全育成の推進について

#### 問

①現状と今後の健全育成プランを問う。  
②愛護班活動の現状を問う。  
③スポーツ少年団の現状と育成支援を問う。

#### 答

教育委員会 事務局長

①社会教育の分野では、青少年の生きる力や社会性をはぐ



スポーツ少年団活動

場助成も行っている。今後は、スポーツ指導者講習会等を行い、指導者の育成と各種大会教室を開催しスポーツ人口の底辺の拡大を図っていきたい。

### 子育て支援について

#### 問

県下において、小中学生への医療費助成が拡大されているが本市での早期実現に向けた対応を問う。

#### 答 中村市長

現在、国では次世代の社会を担う子どもの一人一人の育ちを社会全体で応援する観点から中学校修了までの児童に対する子ども手当が考えられている。本市でも、子育て支援には各種計画があるので、医療費助成に限らず今後の計画については、総合的に判断していかなければならない。医療費助成は、県下でもさまざまな条件があり、今年度実施予定の市町の状況も参考にしながら検討したい。

### その他の質問事項

・住宅版エコポイント制度について